

努力した者全員を昇格させること！ 昇格試験は公平・公正に行うこと！

「平成19年度昇格計画数」が示される

本部は本日、「平成19年度昇格計画数について」業務委員会を開催しました。会社資料によると、昇格計画数は全体で3,450人で、これは有資格者数の3～4割にあたるということが明らかになりました。合格枠がある以上、努力した者全員が合格しません。本部は、努力した者全員を昇格させること、公平・公正に昇格試験を行うことを主張しました。

以下、主なやり取りです。詳細は別紙資料を参照してください。

組合：H18年度の昇格計画数は、約3,210人であったが計画に対する実績はどうであったか。

会社：およそ、計画通りである。

組合：今年度の昇格有資格者は何人か。

会社：3,450人が3～4割と考えてもらえばいい。

組合：各系統別の計画数を明らかにすること。

会社：特に決めてはいない

組合：各級別の有資格者を明らかにすること。

会社：トータルで論じることであり、経過年数等あるので明らかにしない。

組合：飛び級で昇格した人はいるのか。

会社：いちいちにはしませんが、飛び級で合格した人はいる。

組合：昇格試験は公平・公正に行うこと。

会社：毎年のことだが、試験は公平・公正に行っている。

組合：人事考課の基準にQC，提案は入るのか。

会社：QCは業務外である。

組合：努力した人が報われる人事制度であるのなら、昇格数を3～4割でなく5割、6割、さらに努力した者全員を昇格させるべきである。

会社：中長期的に業務に意欲をもって働けるよう計画している。また、不安定な昇格数にならないよう決めている。

以 上